

静岡県議会だより



- 1面 可決した主な議案
2月定例会ダイジェスト
- 2～3面 ピックアップ本会議
- 3面 県議会トピックス
- 4面 ピックアップ委員会
県議会トピックス
本会議・委員会を傍聴しませんか
写真・題字コンクール入賞者発表
県議会クイズ

令和6年度県議会だより題字コンクール 特選作品 作者／本多星和さん(常葉大学附属菊川高校)

令和7年4月27日(日)



令和6年度県議会だより写真コンクール 春の部特選「夜桜ライトアップ」 撮影者／増田喜久さん(焼津市) 撮影地／吉田町

令和7年度一般会計予算の概要 総額1兆3723億円 (対前年度当初予算比 +563億円 4.3%増)

幸福度日本一の静岡県の実現

(1)8つの重点取組

- 伊豆半島をはじめとした防災の推進
道路ネットワークの強化 174億400万円
- 新たな産業活力の創造
企業立地日本一に向けた取り組み 120億6300万円
- 再生可能エネルギー等の導入促進
再生可能エネルギーのさらなる導入拡大 2億2100万円
- 次世代モビリティの導入促進
企業と連携したAI活用モデルの実証(新規) 1億1900万円
- 地域交通のリ・デザイン
公共ライドシェアの全県展開(補正予算含む)(新規) 1300万円
- こども・子育て支援の充実
少子化対策の充実、「こども目線」施策の展開 6億700万円
- 医療・福祉人材の確保
継続的な医師確保対策の推進 41億3900万円
- 外国人の受け入れと多文化共生社会の構築
外国人材の就業機会の確保 7000万円

(2)未来を拓く積極的なチャレンジ

- 特別支援教育の充実(新規) 1200万円

(3)分野別の取組

- きめ細やかな小1少人数支援(新規) 5000万円

ほか

可決した主な議案

令和7年度関係

- ◆令和7年度一般会計予算(概要は左をご覧ください) 1兆3723億円
- ◆静岡県富士登山条例
富士山の環境の保全及び安全で快適な富士登山の実現を図り、世界遺産富士山の有する顕著な普遍的価値を保全し、後世に引き継ぐための条例です。

令和6年度関係

- ◆令和6年度一般会計補正予算 566億4700万円の増額
農業用設備の導入に対する支援
医療機関、福祉施設、私立学校等への支援
災害時に活用するトイレカーの整備 ほか

意見書(件名)

- ◎闇バイトによる犯罪の防止に向けた取組のさらなる強化を求める意見書
- ◎リハビリテーション専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の
処遇改善を求める意見書
- ◎災害時における避難所生活の環境改善を求める意見書
- ◎愛玩動物を虐待から守るための法整備を求める意見書
- ◎聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書

意見書の全文は
こちらを
ご覧ください



2月定例会ダイジェスト

2月定例会は2月18日から3月17日までの28日間開催しました。
開会日に、知事から令和7年度静岡県一般会計予算案など90議案が提出され、そのうち地方経済の成長や物価高の克服等国の補正予算に伴う経費などを盛り込んだ令和6年度一般会計補正予算案等3議案については緊急を要することから、開会日に各常任委員会での審査を行い、翌19日に可決しました。
6日間にわたる代表質問および一般質問では、20人の議員が登壇し、知事の政治姿勢や令和7年度当初予算編成、大規模災害への対策など県政全般について活発な議論を交わしました。
3月3日には、人口減少社会課題対応特別委員会委員長が調査結果を報告し

て知事に政策提言を行いました。
また、3月4日に議員から「消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例の一部を改正する条例」案が提出されました。
その後、7つの常任委員会で議案の詳細な審査を行い、3月17日の最終本会議で常任委員長の見解報告の後、討論を経て採決を行い、全ての知事提出議案を可決または同意しました。
同日、議員提出議案1件のほか、委員会提出議案2件および国に対する5件の意見書案を全て可決しました。

県議会ホームページのご案内

議会の日程や質問議員・項目、インターネット中継、キッズサイト、議員の紹介、本会議や委員会の会議録などを掲載しています。



インターネット版県議会だよりのご案内

パソコンやスマホでもご覧になれます。
(音声による「声の県議会だより」もあります。)



県議会公式Xのご案内

議会の情報をいち早くお届けします。





ピックアップ 本会議

2月定例会本会議の質問と答弁から

代表質問



2月25日午前
(自民改革会議)



2月25日午後
(ふじのくに県民クラブ)



2月26日午前
(公明党静岡県議団)



一般質問



2月26日午後
(無所属)



2月28日午後
(自民改革会議)



3月4日午後
(自民改革会議)



2月28日午後
(ふじのくに県民クラブ)



2月28日午前
(自民改革会議)



2月28日午前
(自民改革会議)



2月27日午後
(自民改革会議)



2月27日午前
(ふじのくに県民クラブ)



2月27日午前
(自民改革会議)



2月26日午後
(自民改革会議)



3月3日午前
(自民改革会議)



3月4日午後
(ふじのくに県民クラブ)



3月4日午前
(公明党静岡県議団)



3月4日午前
(自民改革会議)



3月3日午後
(自民改革会議)



3月3日午後
(ふじのくに県民クラブ)



3月3日午前
(自民改革会議)



3月3日午前
(自民改革会議)



2月28日午後
(自民改革会議)



※二次元コードから各議員の質問の録画中継をご覧ください

行政

令和7年度当初予算編成

県民にとって真に必要な施策をどう反映したのか。

県民の命と財産を守る防災・減災対策を強化した

上で、中小企業支援や子育て・教育環境の充実等の県民

「議案に対する各会派等の賛否」は、こちらをご覧ください



会派別議員数

(令和7年4月18日現在)

自民改革会議	41人
ふじのくに県民クラブ	17人
公明党静岡県議団	5人
無所属	5人
定数68人 現員 68人	

人口減少社会への対応

人口減少に適応した社会構築に向けた取り組みは、

人口減少に歯止めをかける対策に加え、豊かな生

活を維持・向上させるため、デジタル技術による「社会全

体の生産性向上」、子育て中の女性や外国人等の「多様な人

材の活躍促進」、市町や企業等と連携した「社会全体の最適

化」の3つの視点から積極的な対策に取り組む。県有施設

の総量適正化や集約化等に加え、道路等の市町との一括管

理など広域連携を進め長期的視点から行政の最適化を図る。

次期総合計画の策定

県土の均衡ある発展の実現に向けた策定方針は、

「幸福度日本一」の静岡県」の実現には、各地域

の自然や産業など多様なポテンシャルを最大限に生かして

魅力を引き上げることが重要である。令和6年度策定の経

営方針では、各地域の資源を活用した地域づくりの基本方

向を定める。地震津波対策やこども・子育て施策等、各

地域に共通する課題は広域的に対応することも重要であり、

令和7年度に策定する行動計画において示していく。

文化・観光

空港を身近に感じる取り組み

富士山静岡空港の需要拡大に向け搭乗しない方にも楽しんでもらう取り組みは、

開港15周年を契機に機体見学や遊覧飛行等のイベ

ントを充実したほか、地元食材を扱うテナント開業や伊豆

松崎の民芸品展示、開港記念クラフトビールの製造など空

港の魅力向上に取り組んだ。令和7年度は人気アニメとタ

イアップしたイベントで国内外のファンを呼び込む。さら

に空港西側にホテルやアウトドア施設等の誘致を目指すな

ど空港周辺の魅力向上を図る。



富士山静岡空港から飛び立つ航空機

ユニバーサルツーリズムの推進

全ての人が安心して楽しめる旅行の推進に向けた取り組みは、

高齢者や障害のある方が快適な旅行ができる環境整備に向け、令和7年度に2

カ所程度のモデル地域で取り組みを進める。観光関連施設の

バリアフリー化に対する助成制度を創設し受け入れ環境の

改善に取り組むほか、専門家による相談窓口を設置する。バ

富士山の登山規制

登山規制の実効性を高めるための具体的な取り組みおよび入山料の使途は、

富士登山条例で入山者に課す事前学習に富士山の

価値や保全、安全登山に必要な心構え等を盛り込む。事前

登録した登山者には気象や位置情報を提供するなど安全対

策の強化につなげる。入山料は登山規制に係る経費や登山

者の安全対策、環境保全に活用する。初年度は規制開始に

伴う初期経費が見込まれるが、翌年度以降は受付業務の効率

化を進めコスト削減を図る。

用語解説

富士登山条例

富士登山の規制に関する条例。入山者に、登山に関する事前学習の修了や夜間入山の山小屋宿泊、入山料の納付などの条件を付す。条例の施行により、登山ルールの理解者の増加や弾丸登山者の減少等の効果を見込んでいる。令和7年2月定例会に条例案が提出され、可決した。

医療・福祉

健康寿命日本一の維持

都道府県別健康寿命日本一の維持に向けた方策は、

健康寿命の延伸に向け、高血圧に着目し減塩等の

食生活改善や血圧測定の習慣化等により脳卒中の発症を

防する。生活習慣病の発症治療につながる特定健診受診率





ピックアップ委員会 ～常任委員会の質問と答弁から～

総務委員会

Q 中期財政計画に関し、防災・減災などの県民の生命や生活に直結する投資的経費の適正化に対する考え方は。

A 幸福度日本一の静岡県の実現のため施策の優先順位を適切に判断し、必要な事業には積極的に予算配分することは重要であると考えている。具体的な内容や水準については、今後の社会情勢や県民のニーズ、県議会からの意見をしっかりと踏まえ丁寧に進めていく。

危機管理くらし環境委員会

Q 地震・津波対策等減災交付金制度の方針は。

A 能登半島地震を踏まえ、ライフラインや孤立予想集落対策などさらなる強化が必要なメニューの新設および拡充を図る。具体的には空路による円滑な支援のための拠点ヘリポート資機材整備、救護病院や福祉避難所への非常用電源設置に係るメニューを新設する。孤立予想集落の通信確保や備蓄用食料の整備等の交付率をかさ上げする。

文化観光委員会

Q サブスクリプションサービスによる顧客交流促進事業の内容は。

A 県民のスポーツ、文化、観光のイベント等への体験機会の増大と、スポーツチームや文化観光施設などへの誘客を図ることを目的に、県内スポーツチームの試合の観戦、文化観光施設の有料イベント情報を一体的に発信して、定額料金を支払った県民が参加できる仕組みを構築する事業である。

厚生委員会

Q 男性育児休業長期取得促進事業費助成の内容は。

A 出産した女性が体を休める大切な時期である産後8週間において、より長い期間、男性が育児休業を取得できるよう、従業員数300人以下の中小企業に勤務する男性労働者を対象に、国の支援制度の給付対象期間である産後28日を超える育児休業の取得に対して、令和7年4月1日分から独自に応援手当を支給し支援する。

産業委員会

Q 宿泊業および飲食サービス業におけるカスタマーハラスメントの防止対策は。

A 発生時の対応などを学ぶセミナーの開催等のほか、県ホームページでカスタマーハラスメントの防止などに関する情報を発信し県民への意識啓発に努めている。今後はカスタマーハラスメント防止対策協議会を立ち上げ、条例制定も視野に入れスピード感を持って対応していく。

建設委員会

Q 遠州灘海浜公園(篠原地区)に建設予定の野球場建設事業費の見直し予定および規模・構造を決定する時期は。

A 利活用推進協議会で民間事業者等から稼働率向上や財政負担を軽減する提案を広く求めた上で、資材高騰や人手不足等の社会情勢を踏まえた最新の事業費を提示する。期限は設けないが、協議会等で丁寧に議論し、野球場の規模・構造を決めていく。



遠州灘海浜公園(篠原地区) 整備予定地 全景写真

文教警察委員会

Q 令和8年4月に開校の県立校における運営上の配慮は。

A するが視覚総合特別支援学校は、視覚障害のある幼児・児童生徒と知的障害のある生徒が通う県内初の学校である。幼児・児童生徒の生活環境における安全性を確保した上で、互いを認め合い尊重し合える力をつけることができるよう、共に学ぶ機会を創出するなど学校運営の工夫に努める。

本会議・委員会を傍聴しませんか

6月定例会

開会	6月18日
質問	6月23日・24日 25日・26日
常任委員会	7月 7日・ 8日
閉会	7月14日



傍聴案内動画

※日程は、今後変更になる場合があります。
本会議、委員会ともに県庁本館4階で傍聴できます。
(日程および傍聴に関する問い合わせ先
県議会事務局議事課 TEL 054-221-3481)

県議会トピックス

議員提案により条例を改正しました

議員提案により、消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例の改正案が2月定例会に提出され、全員一致で可決されました。

消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例の改正

円滑で安定した消防団活動の確保に向けて、消防団活動に協力する事業所等を支援する条例です。条例が定める要件を満たし知事の認定を受けた法人または個人は、事業税額の2分の1に相当する額(上限100万円)が控除されます。

【改正の概要】条例の適用期間を3年間延長するものです。



県議会議員と大学生との意見交換会を実施しました

若者に政治への関心を高めてもらい、県議会を身近に感じてもらうため、9月、11月、12月に計7回、議員と大学生との意見交換会を実施しました。静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、常葉大学、静岡英和学院大学の学生と議員の間で活発な意見が交わされました。



意見交換会の概要はこちら▶

意見交換会の様子

写真コンクール 入賞者発表

応募総数
175点

たくさんのご応募ありがとうございました。
入賞者は次の皆様です。
特選作品、入選作品は、令和7年度発行の「県議会だより」に掲載します。

特選

春の部	増田 喜久さん (焼津市)
夏の部	高瀬 理絵さん (富士宮市)
秋の部	飯田 勇さん (三島市)
冬の部	佐野 勝彦さん (富士宮市)

入選

春の部	杉山 守さん (駿東郡清水町)
	大塚 美代子さん (静岡市葵区)
夏の部	山本 武正さん (富士宮市)
	山本 寿子さん (富士宮市)
秋の部	小林 修二さん (藤枝市)
	松浦 嘉人さん (浜松市浜名区)
冬の部	山口 勉さん (三島市)
	石垣 清俊さん (静岡市駿河区)

「春の部」入選作品



「春の訪れ」
杉山 守さん
(撮影地/沼津市)



「バラの花咲く丘」
大塚 美代子さん
(撮影地/富士宮市)

題字コンクール 入賞者発表

応募総数
134点

たくさんのご応募ありがとうございました。
入賞者は次の皆様です。
特選作品は、令和7年度発行の「県議会だより」の表紙に題字として掲載します。

特選 本多 星和さん (常葉大菊川高校)
岡田 梨里さん (浜松学芸高校)
薩川 尚美さん (静岡城北高校)
源馬 音花さん (浜北西高校)

入選 前嶋 唯花さん (富士高校)
渡邊 美桜さん (富士高校)
横山 桃子さん (藤枝東高校)
松下 茉莉衣さん (角川ドワンゴ学園N高校)

入選作品

静岡県議会だより

前嶋 唯花さん (富士高校)

静岡県議会だより

渡邊 美桜さん (富士高校)

静岡県議会だより

横山 桃子さん (藤枝東高校)

静岡県議会だより

松下 茉莉衣さん (角川ドワンゴ学園N高校)

県議会 クイズ

プレゼント付
応募フォーム



《問題》

2月定例会では、令和7年度から24時間365日に開設時間を拡充するとともに相談員を増員して本格運用を開始する「救急相談窓口#〇〇〇〇」の運営状況と実施体制についての質問がありました。

※〇に該当する数字4文字をお答えください。
(ヒントは3面にあります)

《応募要領等》

①答え②住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、③県議会だよりのご感想や県議会へのご意見を添えて、5月12日(月)までに政策調査課あてに、ハガキ、FAX、Eメールまたは左記の応募フォームでご応募ください。正解者の中から抽選で20名の方に、「金目鯛ごはんの素と金目鯛味噌汁の素セット」をお送りいたします。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※個人情報情報は商品の発送と読者層の調査のために使用します。

■プレゼントのご紹介

伊豆下田産の金目鯛のおいしさをそのまま生かした「金目鯛ごはんの素」は、2024年のふじのくに新商品セレクション最高金賞を受賞したプレミアムな炊き込みごはんの素です。金目鯛のうま味をお手軽に味わえる「金目鯛味噌汁の素」とセットでお届けします。



金目鯛ごはんの素、金目鯛味噌汁の素セット

